

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ルミナフレنز				公表日	2025年 2月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7					
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・曜日によってスタッフの配置数が限られる状況。今後の課題と認識している。	→シフトの調整等によって、児童の人数等とスタッフの人数が適切になるよう努めてまいります。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7					
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7					
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7					
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		→現在第三者評価は行っておりませんが、必要に応じて導入を検討してまいります。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・現在OT、STそれぞれ月1回の勉強会を実施。今後、他の観点での勉強会を検討してもよいかもしれない。	→内部研修の内容について、現場のスタッフの声を聞き、具体的にどのような勉強会を行いたいのか意見を抽出し、企画につなげてまいります。		
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	・支援プログラムは現在作成中で、公表には至っていない	→早急に公表の手続きを行います。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7					
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7					
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7					
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7					

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		→全スタッフが支援後の振り返りや打ち合わせに参加できるよう、時間帯や方法を再度検討いたします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		→支援の振り返りに時間を使い、よりよい療育の検討ができるよう、記録の記入時間の短縮化や方法について、検討いたします。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・直近での他事業所との会議はないが、開催された際は参画している	→必要に応じて、担当者会議等に参加し、他機関と連携をすることでよりよいお子様への支援を提供してまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	・必要な児童の情報共有等は行っているが、全ての児童に対して支援内容の共有をするまでには至っていない。	→必要に応じて、保育園や幼稚園等と連携し、支援内容の情報共有をすることで、併行支援や移行支援につなげてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	5	・小学校と直接的な連携はないが、必要な相談先として教育相談の案内をしている ・直接行ったことはないが、必要に応じて対応 ・教育相談室への案内をし、その後は相談進行の確認のみ	→相談先として、教育相談室への案内は出している状況。今後ニーズに応じて就学先との連携ができるよう、対応を検討してまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3		→児童発達支援センターとの連携をさらに強化し、必要に応じて研修機会やスーパーバイズを受けるようにしてまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7	・きょうだい児以外は関わりなし？ ・現在実施していないが、地域連携の観点から検討していく必要があると考えられる	→地域に根差した施設を目指し、今後必要な連携がいただけるように検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	・次年度企画予定になっている(親子で参加できるワークなどが内容としてあがっている) ・研修の機会×、情報提供○ ・直接的なプログラムの研修はないが、家族支援の情報提供を行っている	→今年度できなかった親子参加の企画について、来年度は実施ができるように計画してまいります。また、引き続き保護者への研修や支援の情報提供を積極的に行ってまいります。	

保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	・今年度はグループ利用児童の年齢や進路等の背景を考え実施せず、兄弟参加可能なおまつりは毎年実施している。 ・保護者様が自主的に交流を持っている	→保護者やきょうだい児が参加しやすいテーマや方法を検討してまいります。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。		7	今後の課題と認識している	→地域住民への周知方法や、招待する範囲を含めて検討し、必要な行事等の実施に向けて準備をしております。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・事業所での食事提供はなし	→お菓子等の提供がある場合には、事前に提出いただいているアレルギーの有無を確認したうえで、除去食の提供を徹底します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			